

令和6年度まちづくり交流会 実施報告書

令和6年6月1日

常陸大宮市協働事業提案制度審査委員会

常陸大宮市まちづくり委員会

令和6年度まちづくり交流会 実施報告書

■令和6年度まちづくり交流会

日 時：令和6年6月1日（土）10時20分から11時55分まで

場 所：常陸大宮ショッピングセンターピサーロ 多目的ホール

■評価委員

常陸大宮市協働事業提案制度審査委員会

氏名	職	組織区分	備考
大野 寛	委員長	その他市長が必要と認める者	認定NPO法人茨城NPOセンターコモンズ
蓮田 忠史	副委員長	その他市長が必要と認める者	常陸大宮市商工会
川島 佑介		学識経験者	茨城大学
中庭 和美		その他市長が必要と認める者	株式会社筑波銀行
泉 藤男		地域創生部長	常陸大宮市

常陸大宮市まちづくり委員会

氏名	職	組織区分	備考
菊池 三千春	委員長	その他市長が必要と認める者	「地域創生まちづくり計画」策定委員会委員長
西野 由希子	副委員長	学識経験者	茨城大学
石崎 重昭		その他市長が必要と認める者	常陸大宮市ネットワーカー協議会
菅野 大志 (欠席)		その他市長が必要と認める者	移住・定住者
佐藤 誠		その他市長が必要と認める者	「地域創生まちづくり計画」策定委員会副委員長
山崎 一希 (欠席)		学識経験者	茨城大学
泉 藤男		地域創生部長	常陸大宮市

■評価過程

本年度は、地域創生まちづくり計画に基づく補助事業「協働事業提案制度」と「まちづくり活動支援補助」を広く周知するため、各補助制度を実施した団体より公開による報告会を実施した。

【協働事業提案制度】

令和5年度に実施した下記事業について、「常陸大宮市協働事業提案制度実施要綱」第15条第2項の規定により、公開による事業報告会を実施した。

事業報告会では、事業完了報告書、自己評価シート及び実施団体からのプレゼンテーションによる報告を基に、各委員からの質疑等を行う事で、事業の公益性、効果、今後の事業の展望など協働事業としての評価を行った。

- | | |
|--------|--|
| 評価対象事業 | ・事業名：ラジオH038インターネット市民ラジオ局の設立と運営
団体名：常陸大宮情報メディア研究会 |
| | ・事業名：茨城大学と西塩子地区の交流事業
団体名：茨城大学西塩子チーム |

【まちづくり活動支援補助】

令和5年度に実施した17件のうち、下記の2事業について報告を行った。なお、本補助制度については、公開による事業報告を必須としていないため、制度の周知及び各まちづくり団体の活動報告の場として、依頼したものである。

- | | |
|--------|--|
| 活動報告事業 | ・事業名：FUN STREET HITACHIOMIYA STATION
団体名：NPO法人あきない組 |
| | ・事業名：花祭り・イルミネーション祭り・夏祭り
団体名：OBA生き生き会 |

■事業の概要及び委員会評価

【協働事業提案制度】

提案事業名	ラジオH038インターネット市民ラジオ局の設立と運営 ～ひたちおおみや放送局 Keydecke の企画運営～			継続事業 3年目（最終）
提案団体	常陸大宮情報メディア研究会	市の担当課	企画政策課、地域創生課	
事業概要	市民目線での身近な情報を発信することで、市内外の視聴者に対し、真の常陸大宮の姿を伝えていくことを目的とする。 1．防災啓発や市民紹介の番組作り 2．YouTube による情報発信			
収支 [事業総額] 525,000 円	収入	常陸大宮市補助金500,000円 自己資金25,000円		
	支出	報償費、消耗品費、使用料、委託料 外		
委員会評価	本事業は、市民団体が自主的に地域の魅力を YouTube にて市内外に発信し、市広報部局と連携し補完し合う事業である。 協働事業の補助最終年度（3年目）を迎え、認知度を活かし、地元地域に根ざした放送を行うなど、協働の趣旨に沿った活動がなされ、動画本数、再生回数が順調に増加している。 今後も引き続き、様々な市民団体とコラボレーションした放送を行う事などを期待するとともに、若年層の担い手の発掘や、自主財源の拡充はもちろんのこと、外部財源を積極的に得るなど、更なる事業の安定化と拡大を図られたい。			
その他 意見等	・インスタグラムやLINE等を用いたPR方法を検討されたい。 ・今後の市との関わり方について検討されたい。			

提案事業名	茨城大学と西塩子地区の交流事業			新規事業 (育成提案)
提案団体	茨城大学西塩子チーム	市の担当課	文化スポーツ課	
事業概要	西塩子地区で開催される「西塩子の回り舞台」に関し、保存会やそれを取りまく現地の方々の意見や思いをくみ取るために、オーラルヒストリーのデジタルアーカイブの作成を行い、書物だけではない、映像で残す記録となるものを作成する。 具体的な中身としてはインタビューを通じて「回り舞台」に対する思いや、今まで関わってきた感想、今後の願いなどをまとめ、来年開催される予定である西塩子の回り舞台へ周知させる動画の作成を行う。			

収支 [事業総額] 6,450 円	収入	常陸大宮市補助金 5, 0 0 0 円 自己資金 1, 4 5 0 円
	支出	交通費
委員会評価	本事業は、茨城大学の学生が西塩子の回り舞台をテーマとし、地域住民と交流を通し、伝統行事の保存を図る事業である。 学生の立場で、中立的な視点から関連者にインタビューを行うなど、祭りに携わる”人”にスポットを当てている点において評価でき、今回の事業を通じてできた、地区との交流を継続し、回り舞台の存続と、地域に活力を与えていただきたい。 育成提案事業は申請年度内に事業完了まで行うもので、期間が短く、また、単年度で補助を終了するものであるが、補助終了後も引き続き、地域との交流を継続し、回り舞台の継続に協力することを期待する。	
その他 意見等	・今後を見据え、個人プロジェクトとして動かずチーム作りにも力を入れて欲しい。 ・引き続き、回り舞台の本祭、祭り後も交流を続け、一環とした事業として欲しい。 ・キーデックを利活用するなど、相乗効果を期待したい。	

【まちづくり活動支援補助】

事業名	FUN STREET HITACHIOMIYA STATION (地域イベント助成事業)	
実施団体	NPO法人あきない組	
事業概要	市が実践する常陸大宮駅周辺整備計画のハード事業に合わせ、これまでの常陸大宮駅周辺の歴史を、市民の方々と共有する機会を創出することで、今後の、常陸大宮市を輝かせる事を目的とする。	
収支 [事業総額] 537,500 円	収入	常陸大宮市補助金 3 0 0, 0 0 0 円 自己資金 2 3 7, 5 0 0 円
	支出	需用費、委託料、備品購入費 外
意見等	・地元の写真店、学生など多様な主体が関わり事業を実施しており、今後もこのような取り組みを継続するなかで市民の関心を高めてもらいたい。 ・駅周辺整備の途中、整備後にも同様の事業を実施することで、市民がまちづくりに参加するきっかけにもなる。 ・地域のあきない組として一層の活躍をお願いしたい。	

事業名	花祭り・イルミネーション祭り・夏祭り (地域イベント助成事業)	
実施団体	O B A生き活き会	
事業概要	小場地区の地域の賑わい、コミュニティづくりを目的に様々なイベントを実施する。 ・花祭り・イルミネーション祭・夏祭り	
収支 [事業総額] 300,644 円	収入	常陸大宮市補助金200,000円 自己資金100,644円
	支出	需用費、委託料、備品購入費 外
意見等	・地域のにぎわいづくりを応援する活動支援補助としてふさわしい事業である。地区の交流が減少する中、地域ぐるみで事業を行う良い事例である。区長会で報告会を開催するなど、各地域に波及するとよい。	

★報告会の様子★

